

● 環境省からのお知らせ ●

「カルタで知ろう 大熊の魅力 展示&スタンプラリー」開催

環境省福島地方環境事務所では、環境再生事業の推進とともに、地元自治体や団体、町民の皆さまなどと連携し、地域活性化の支援に取り組んでいます。

この一環として、大熊町役場、関係施設などの協力を得て、大熊町の町民有志などで構成する「おおくま・おらほのカルタで再発見実行委員会」が実施主体となり、「カルタで知ろう 大熊の魅力 展示&スタンプラリー」を開催しています。

開催期間 2023年12月15日(金) → 2024年3月25日(月)

大熊町内の様々なスポットで「おおくま・おらほのカルタ」を探して、大熊町の魅力を再発見しよう!

参加方法

大熊町内に9カ所ある「スタンプスポット」でカルタを見つけて、設置された専用台紙にスタンプを押してください(スマートフォンをお持ちの方は表示されているQRコードを読み取ってください)。3カ所以上スタンプを集めてアンケートに答えると「おおくま・おらほのカルタ」やエコバッグ、キーホルダーなど1点プレゼント!さらに全力所のスタンプを集めると、書籍「続 残しておきたい大熊のはなし」、「おおくま・おらほのカルタ 手ぬぐい」など、もう1点プレゼントいたします!

※プレゼントの数および種類は先着となり限りがあります。種類によってはプレゼントが無くなる場合があります。



おおくま・おらほのカルタで再発見								
Linkる大熊	大熊町移住定住支援センター	中間貯蔵工事情報センター	大熊インキュベーションセンター	KUMA・PRE	大熊食堂	大熊町役場	大熊町役場	JR大熊駅待合室
大熊町大字大川原字南平1207番地1 交流ゾーン [開催時間] 9:00~21:00 [定休日] 12月29日~翌1月3日	大熊町大字下野上字清水307番地1 [開催時間] 9:00~17:45 [定休日] 日曜・祝日	大熊町大字小入野字向畑256番地 [開催時間] 10:00~16:00 [定休日] 日曜・月曜(月曜祝日の場合は翌平日)	大熊町大字下野上字清水230番地 [開催時間] 9:00~17:00 [定休日] 土曜午後、日曜、祝日	大熊町大字下野上字大野98番地1 [開催時間] 10:00~16:00 [定休日] 月・水・日曜・祝日	大熊町大字大川原字南平911番地 [営業時間] 11:30~14:00 [定休日] 土・日曜・祝日	大熊町大字大川原字南平1717番地 [開催時間] 8:30~17:15 [定休日] 土・日曜・祝日	大熊町大字大川原字南平1920番地1 [開催時間] 9:00~17:00 [定休日] 土・日曜・祝日	大熊町大字大川原字南平1717番地 [開催時間] 8:30~17:15 [定休日] 土・日曜・祝日

環境省の情報発信拠点

見学会やイベント等の詳細につきましては、各施設にお問い合わせ下さい

● 中間貯蔵工事情報センター



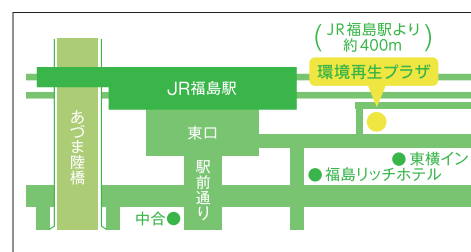
■所在地 福島県双葉郡大熊町
大字小入野字向畑 256
■開館時間 10:00~16:00
■休館日 日曜日・月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 0240-25-8377
中間貯蔵施設工事について紹介しています。
毎月、中間貯蔵施設見学会(事前申込制)を開催しています。

● 特定廃棄物埋立情報館 リプルンふくしま



■所在地 福島県双葉郡富岡町
大字上郡山字太田 526-7
■開館時間 9:00~17:00
■休館日 月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 0240-23-7781
特定廃棄物の埋立処分事業について紹介しています。毎週末には参加型イベントや実験教室なども開催しています。

● 環境再生プラザ



■所在地 福島県福島市米町
1-31 1階
■開館時間 10:00~17:00
■休館日 月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 024-529-5668
福島県環境再生への取り組みなどの情報を紹介しています。常駐している専門家による解説や相談などを行っています。

地域になりわいや交流の場を取り戻す 2023.12月

ふくしま 環境再生 Vol.30



「ふくしま環境再生」では、環境省が進める環境再生事業や地域活性化事業などの情報を定期的にお知らせします。



環境省 福島地方環境事務所

2023年の春に、浪江町と富岡町で特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されました。解除された地元に戻って、なりわいを取り戻そうとがんばっている方々がいます。今回はその取り組みをご紹介します。

「特定復興再生拠点区域」とは？
将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除して居住を可能にする区域のことです。6町村*が復興及び再生を推進するための特定復興再生拠点区域復興再生計画(以下、「計画」)を作成し、内閣総理大臣の認定を受け、国が区域内の帰還環境整備に向けた除染・インフラ整備等を集中的に行いました。 *富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村



石井農園
石井絹江さん

浪江町津島地区から福島市飯坂町平野に避難し、2015年に避難先で「石井農園」をスタート。2017年から避難指示が解除された浪江町でエゴマを栽培。収穫したエゴマは油・ジャムなどに加工し、全国各地で販売中。

なりわいと交流の場を再び

——— これまでやってきたことを戻った地域でも ———

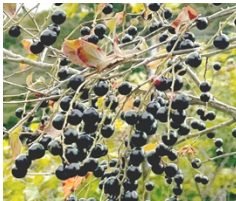
解除されてから、津島地区と福島市を行ったり来たりして、忙しくも楽しい毎日を過ごしています。ここに来て、新鮮な空気を吸って周りの景色を見ると気持ちが満たされます。

津島が解除されたら、地域のためになにかできないかとこれまでずっと考えていました。

震災前は地域の仲間で「かぼちゃまんじゅう」を商品として作っていて、地元で親しまれていました。震災後は石井農園としてエゴマなどを栽培、6次化商品を作り販売しています。現在、戻った地域でいろいろな作物を試験的に栽培していますが、エゴマ、ナツハゼ、ウマブドウなど体に良いものを使って商品化し、地元の「なりわい」の一つになるように取り組んでいるところです。



エゴマ



ナツハゼ



ウマブドウ

2023年3月31日に浪江町内の特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されました。



地域に必要な交流の場づくり

解除されてまもない地域ではまだ住む人が少ないのが実情です。まずは、気軽に訪れたり、交流できる場所づくりが必要だと感じています。

住まいの近くにある、つしま活性化センター敷地内の建物などを活用して、元の住民の方や地域に訪れた方などが気軽に立ち寄れる場を創っていければと思います。いろいろな方々に協力してもらいながら、昔からあるかぼちゃまんじゅうやこれから新しく考える6次化商品などでもてなして、わいわいできる場ができたらいいですね。



2022年4月1日より再開された浪江町役場津島支所



バウムハウスヨノモリ
遠藤一善さん

富岡町夜の森地区に生まれ育った遠藤さん。1級建築士の資格を持ち、震災前は、町内で設計事務所を経営。現在は、富岡町の商工会長を務め、家族がいる避難先のいわき市から単身で町内に在住し、バウムクーヘン工房をオープン。

一年を通して人がやってくる地域の間づくりとしてのバウムクーヘン

——— 地元の農産物をどうしたら地域づくりに活かせるか ———

地元のもので何かをしようと思った時に、やっぱり「米だね」と思い、米粉を使ったバウムクーヘンを思いつきました。夜の森といえば桜並木がすごく綺麗で、春先には人がいっぱい来るんですけども、春以外でも一年を通してこの夜の森に人が来てくれるきっかけを作りたいと思っていました。

私自身は1級建築士でして、何も無いところから作り上げていくのは建築士も一緒なので、究極の町づくりの一歩としてバウムクーヘンですね。



米粉に使われる富岡産米「天のつぶ」



夜の森の桜並木



2023年7月にオープンしたバウムハウスヨノモリ

さらに広い地域の美味しいものを使って

食べて夜の森の桜並木を思い出してもらえたらいいと思います。これからは富岡町で作っているブドウとか、大熊町のイチゴとか、近隣の地域も含めて地元のものを使った商品を作って、人が一年を通して立ち寄れるきっかけとなるようにしたいです。夜の森だけでなく双葉地域全体に人がきてくれるような取り組みにしていきたいです。



夜の森の桜並木をイメージした「さくらもち風」(左)、ハードタイプの「玄米」(右)

2023年4月1日に富岡町内の特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されました。



TV番組「なすびのギモン パート11」のご紹介

今回取材した内容は、テレビ番組「なすびのギモン パート11」第2回・第3回で放送されました。この番組は、福島市出身のタレント・なすびさんが現地を取材し、除染や放射線に関する様々なギモンや環境再生への取り組みなどを分かりやすくレポートしています。

2024年2月には、第4回を放送予定です。ぜひご覧ください。

番組終了後は、なすびのギモン公式ホームページでアーカイブ視聴ができます。合わせてご覧ください。



なすびのギモン

検索



第1回テーマ「除染土壌の再生利用っていまどうなっているの？」

飯館村長泥地区で行われている除去土壌の再生利用の実証事業のいまの様子を取材しました。

第2回テーマ「避難指示解除された特定復興再生拠点ってどうなっているの？(浪江町編)」

2023年3月31(金)に特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された浪江町で、津島地区が地元の石井農園を営む石井絹江さんにお話を伺いました。

第3回テーマ「避難指示解除された特定復興再生拠点ってどうなっているの？(富岡町編)」

2023年4月1日(土)に特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された富岡町で、夜の森地区にバウムクーヘンのお店を開店された遠藤一善さんにお話を伺いました。